

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和5年4月10日 NO67

発行責任者：橋迫芳隆



神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

令和5年度 当初予算

県水道広域連合企業団神石高原事務所の発足

神石高原町簡易水道条例が廃止される

令和5年度当初予算、一般会計・特別会計・病院事業会計の合計額は159億8079万円

対比4億5161万円の減額予算(▲2.7%)となつていきます。内訳は表のとおりです。

一般会計は120億2千万円

前年度より1億9千万円増(1.6%増)となつていきます。

自主財源は35億755万円

収入総額の30%で前年度より1.0%減となりました。

町税やその他の収入の額は増えていますが基金からの繰入金額が減少したことが要因です。

依存財源

地方交付税という国から頂くお金は、50億円(総額の41.6%)で昨年実績を踏まえ特別交付税など1億7千万円増を見込んでいます。また、コロナ関連費の減

や災害復旧完了などです。

国・県支出金もかなり減額となりました。病院建設も完了しましたが、その他事業などの増加により借入

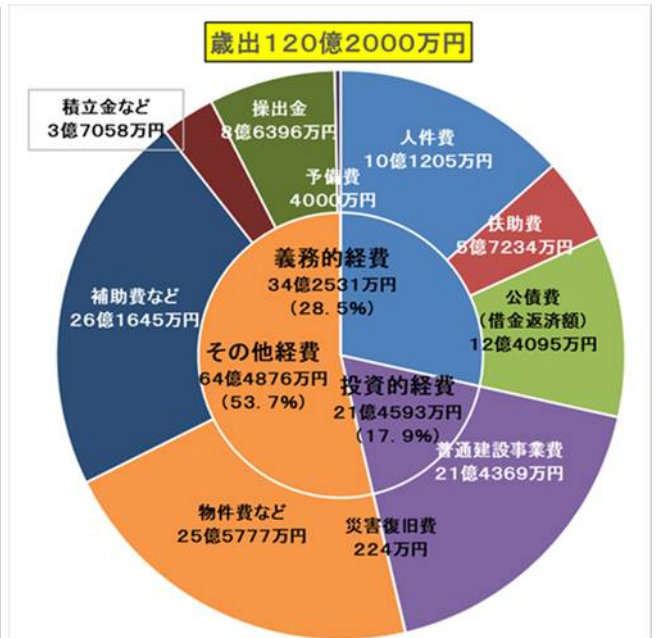
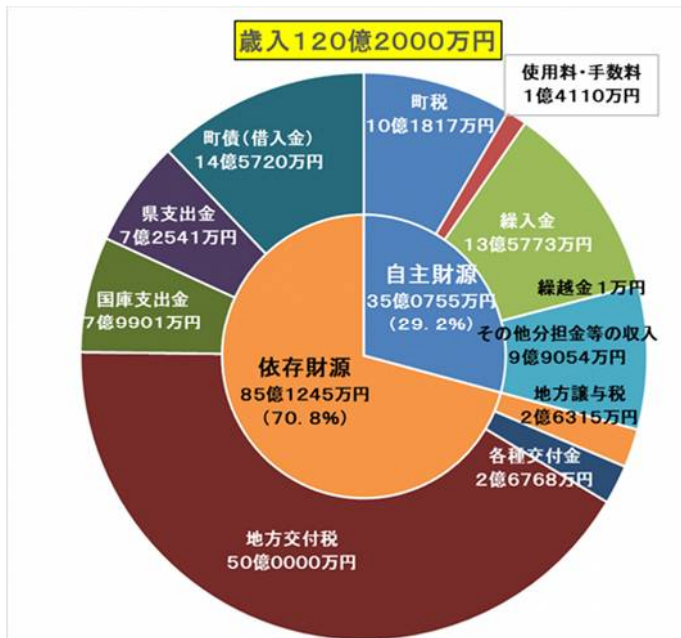
予定額が14億5720万円と2億1700万増加(17.6%増)し、依存財源は85億1245万円増(2.7%増)となりました。

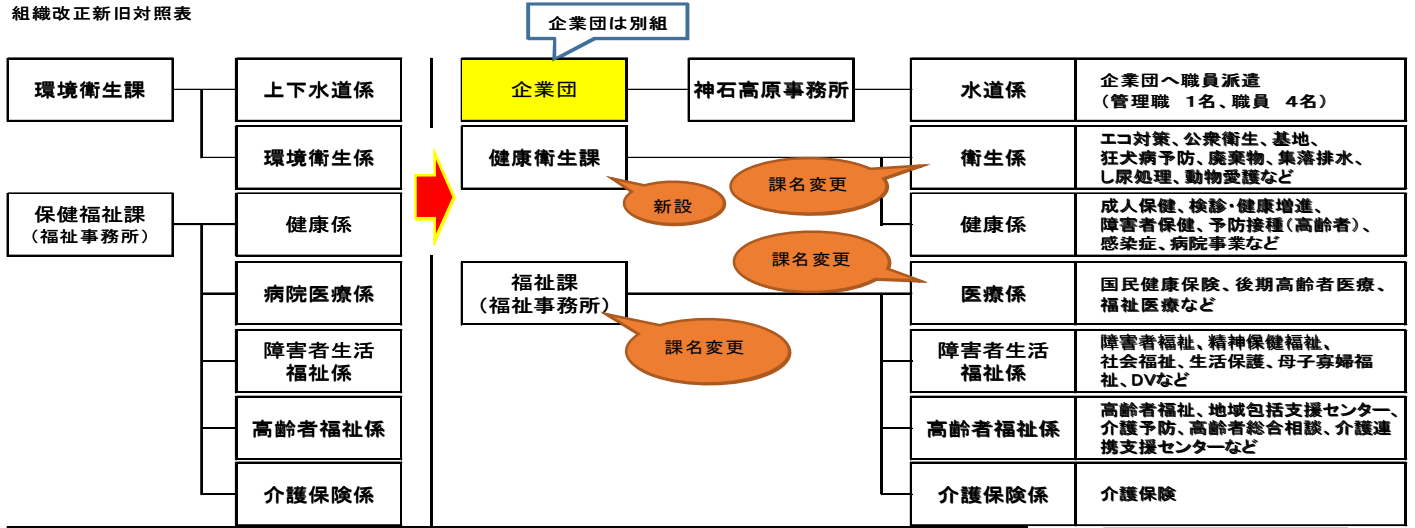
本年度の借金の返済額(公債費)は、災害普及事業債や過疎債の償還で1億4396万円減の12億4千万円となつています。

また、令和5年度末の地方債(借金)残高の総額は141億7千万円となり前年度より3億5千万円程度の増となる予定です。

令和5年度当初の基金(積立金)総残高は11億9千万円です。前年度より4億円増を予定しています。

会計名	R5年度 前年度比較	
	当初予算額	増減額
一般会計	120億2000	1億9000
特別会計		
国民健康保険	9億3850	▲7550
後期高齢者医療	3億8790	1,400
介護保険	18億6790	▲7100
内訳		
保険事業勘定	18億5100	▲7100
介護サービス事業勘定	1690	0
簡易水道事業		▲3億8530
飲料水供設事業	4170	430
農業集落排水事業	2億1780	▲890
分収育林事業		▲10
総合開発事業	1320	990
特別会計計	34億6700	▲5億1260
病院事業会計	4億9379	▲1億2901
内訳		
資本的支出	3138	▲2億6852
収益的支出	4億6241	13億951
合計	159億8079	▲4億5161
特別会計+病院事業会計	39億6079	▲6億4161





令和5年3月一般会計補正予算(令和4年度3月分)			
(単位:万円)四捨五入			
費目	補正予算	補正後予算	主要内容
議会費	▲ 40	7866	印刷製本費▲40
総務費	▲ 5509	29億7032	一般管理▲1086、かがやきネット管理▲200、財務管理▲463、庁舎管理▲250、普通財産管理▲1086、定住促進▲490、チャレンジファンド▲450、企業誘致▲239、地産地防▲160、生活交通確保▲1077
民生費	▲ 4277	21億6149	国保会計操出396、子育て世帯支援▲700、介護保険操出▲457、後期高齢者会計操出▲1414、放課後児童施設管理▲224、保育所運営▲635
衛生費	▲ 7675	16億4651	予防接種▲2490、母子保健▲224、成人保健▲515、飲料水確保50、やすらぎ苑100、病院会計補助▲3289、次期ごみ対策▲835、し尿処理車両▲246
農林水産費	▲ 9031	7億7249	農業委員会▲253、新規就農者支援▲251、中山間直接支払▲111、有害鳥獣▲984、地域営農支援▲570、多面的機能支払▲570、農産物販売促進▲943、農業振興▲1427、畜産安定▲123、農道維持▲258、林業プロジェクト▲1284
商工費	▲ 46	3億1828	自然公園管理30、観光事業▲30、観光団体補助▲46
土木費	▲ 5371	8億1012	宅地耐震化229、長寿命化▲859、橋梁トンネル補修▲1001、町道改良▲230、単独町費町道整備▲3470
消防費	▲ 885	4億2908	日常備用消防▲350、消防水利補修▲140、消防設備▲235、防災対策▲100
教育費	▲ 1558	9億3801	小中高支援▲196、英語推進▲160、小・中学校給食管理▲514、成人式▲35、団体育成▲30、社会教育施設管理▲480、放課後子供P▲50
災害復旧費	▲ 1億0010	4億2111	現年発生農地復旧810、過年度農地復旧▲8191、過年度発生林道▲441、現年発生道路橋梁▲1388、過年度(令和3年度)発生道路橋梁復旧▲800
公債費	▲ 1839	14億1487	長期債元金償還▲217、長期債利子償還▲1076、一時借入金利子▲546
諸支出金	3億1349	6億7507	財調基金積立196、保健医療福祉基金積立158、かがやきネット管理基金積立5362、公共施設管理基金積立1億2009、産業振興基金積立1億338、企業立地基金積立2995、若者定住応援基金積立59
予備費		4000	
合計	▲ 1億4892	126億7601	(歳入)町税6377、消費税交付金1619、地方交付税4億867、使用料手数料626、国庫支出金▲7664、県支出金3522、財産収入1071、寄付金170、繰入金▲5億6177、繰越金4761、諸収入3365、町債▲1億2790

令和5年
なにが
どうなる

- 令和5年度主な新規・拡充事業
- トマト関連支援 3770万円
 - ぶどう関連支援 1083万円
 - こども食堂(町内実施) 283万円
 - 油木百彩館整備 874万円
 - 知的資産報告書作成 470円
 - 地域計画(目標地図作成) 174万円
- 主な繰り越し事業(単位万円)
- ◇20%増高原通貨発行1700
 - ◇旧井関小学校解体 2145
 - ◇1825トイレ改修 5355
 - ◇病院施設改修(凍結) 6083
 - ◇町道上組城江線改修4090
 - ◇町道黒木桑木線改修2676
 - ◇シルトピア油木整備7553

令和4年度予算会計別総括表			
(単位:万円(四捨五入))			
会計名	令和4年度		摘要
	R5.3月補正	R5.3月補正後予算	
一般会計	▲1億4892	126億7601	
国民健康保険	2273	10億4421	財調基金積立2267
後期高齢者医療	▲1604	3億6231	広域連合負担金▲1604
介護保険	1478	20億0841	基金積立3172、委託料▲59
内訳			
保険事業勘定	1533	19億9,334	
介護サービス事業勘定	▲55	1,508	
簡易水道事業	313	4億1884	負担金313
飲料水供設事業		4605	
農業集落排水事業	▲50	2億5091	調査委託料▲50
分収育林事業		330	
総合開発事		10	
特別会計計	2410	41億3413	
病院事業会計	▲2271	6億6176	固定資産購入▲1900、委託料▲1300、減価償却2319
合計	▲1億4753	174億7189	

令和4年度3月補正

産業振興基金積立など追加補正

令和4年度補正予算(R5年3月)は、表のとおりで、事業費の確定、精算見込による減額補正が主なものです。

《主な増額補正》

- 生活交通確保負担金補助 中国バス運賃収入減分補助135万円
- 障害者介護給付・訓練給付 314万円
- 町道上組城江線整備 804万円
- 産業振興事業基金積立 1億338万円

条例制定・改正の主なもの

○特別会計条例の一部改正

令和5年4月1日から企業会計に移行するため「簡易水道事業特別会計」を廃止する。(表を参照)

○消防団員の定員・任免規程条例の一部改正

人口動向に合わせ定員を見直す。
※680人↓610人

○町国民健康保険条例の一部改正

税負担の公平性の確保、中低所得層の負担軽減を図るため。

○公の施設の指定管理者の指定

*提案分全て継続 42件

人権擁護委員の推薦同意

※任期 委嘱日から3年

・氏名 小坂 依文氏
住所 油木6734-1

教育長の任命同意

※任期(残任期間) 1年

・氏名 政宗 賢治氏
住所 阿下1170

現教育長 馬屋原健治氏が令和5年3月31日に辞職されることに伴い、正宗賢治氏を任命する事について同意を求められ、全員一致で同意しました。

当初予算質問

職員研修費

木野山 主な職員の、延べで年間300名、月1回の研修となれば、機会原価も相当となる。
成果の把握・検証は。

瀬尾総務課長

町の人事評価を基に一定の検証を行う。今後の状況を見て制度設計する。

生活交通確保事業

木野山 本庁舎前を通過する町営バスの運行は出来ないか。

瀬尾総務課長

利用が少なく費用対効果、財源など総合的に判断すると難しい状況だ。

神石高原チャレンジファンド運営事業

木野山 財団への貸付とその時期は、誰がいつ判断するのか。

池田政策企画課長

財団の資

金状況を基に、必要な時期に、町長が判断します。

知的資産経営報告書作成業務

木野山 報告書を公開するターゲットは何処を想定されているのか。公開媒体は。

最初はプレス発表が有効と思うがどうか。

池田政策企画課長

自治体版の報告書なのでターゲットは町民や関係人口となる。

町のホームページや町広報、国の各事業媒体を考えている。

データ連携活用等調査研究事業

調査研究事業

木野山 活用する国の特別交付金メニューは、単年度で予算計上する理由は。

高石未来創造課長

事業費の7割が総務省特別交付税措置となっている。3年間交付を受けるが3年の中で見直しながら実施するもので、実施内容や委託先は単年度で判断し決定する。

油木百彩館の管理運営

木野山

①施設は、(株)I-BASEに無償貸付(トイレ以外は3年間指定管理)

②令和5年度総工費5300万円で施設改良を実施する。

③施設改修後は(株)I-BASEが独自運営となるのか。

豊田産業課長

維持管理は指定管理制度を活用。開始3年間は管理料を支払うが、以降は独立採算を検討する。トイレは引継ぐ。

改修は令和5年度設計業務、その後本体工事に移行する。

改修後、指定管理者を選定し維持管理を委託する。



さくらが満開となりました



ひと休み

新年度予算の編集集中に新発見がありました。まずは図を見てください。青線が自主財源で赤線が義務的経費です。あくまで予算です。比率なので数字のマジックがあるかもしれません。でも、昨年からは自主財源が義務的経費を上回っています。これは、事実です。財務分析してみてください。



一般質問

デジタル技術と関係人口の広がり

木野山 デジタル技術の普及と関係人口の広がりが組み合わさるとは、どのようなイメージが湧くべきか。

A 町長

本町の魅力や資源、特色をデジタル技術を使い情報発信し、町外から人を呼び込む事で地域に人々の多様な関係性が生まれ町が賑わうイメージ。

コロナ対策の今後の取り組み

木野山 コロナ対策は歩みを止める事なく職責を担うとあるが支援策は継続するののか。

A 町長

経営継続の課題など危機感を持つ現状に依じた支援を、時期を逸することなく行うという趣旨だ。

農業振興への取り組み

木野山 農業に於ける長期的対策とトマト・ぶどう・神石牛への支援策は。

A 町長

農業対策は、将来に向けての方向性を農業振興協議会の意見や議論を伺い進める。トマトは、既存農家の生産規模拡大を図る。ぶどうは研修制度の支援と就農地の整備を行う。神石牛は生産拡大支援とブランド化に向けPR活動に力を入れる。

商業振興への取り組み

A 町長 商工振興において、燃料などの高騰対策は国の動向を見ながら必要な対策を検討したい。

有害鳥獣対策

A 町長

観光振興(民泊の取り組み)

木野山 民泊は申し込みが多いと聞いた。受け入れ態勢は。協働支援センターとの連携が重要と思うが。

A 町長

田舎体験民泊は受入調整を進めている。協働支援センター主体でやって頂くと地域の活性化に繋がっている。

有害鳥獣対策

木野山

有害鳥獣対策は、民間のジビエ処理工場も完成し、埋没処理の負担軽減や搬入方法の認知など業者と連携し、進める。堆肥化処理は行わない。

新しく取り組み子育て支援事業は

木野山 「子ども食堂」「ヘルパーによる相談支援」事業は国の事業と関連が有るののか。

A 町長

子ども食堂「は国が子供の貧困対策として、「相談支援」事業は国の新たな子育て家庭支援の基盤整備支援事業で、それぞれ3/4の補助率で行う。

文化財・文化資源の保存

木野山 デジタル技術を活用した文化財・文化資源のアーカイブの取り組みの進捗状況は。

A 町長

初年度で巫女舞や神社の3D化に取り組んできた。今年度中に成果の報告を受ける。

海外交流事業の新しい取り組み

木野山 海外交流事業を今後はアジア地域で進めるとあるが候補国は。日本の歴史、良さを知った上で研修を望む。

A 町長

オーストラリアでの研修は、人数の制約、費用面、日

数面でのハードルが高く、アジア圏の研修により海外研修体験の機会を増やしたい。決定されればどの国でも支援します。

町個人情報保護条例が制定されました。

《目的》
○社会全体へのデジタル化への対応
○個人情報保護とデータ流通の保護強化
◇新法に一元化され、所管も統一した

